

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-----|-------------|----|-------|--------|--------|
| 学校名 | 廿日市市立阿品台中学校 | 校長 | 津田 和也 | 生徒指導主事 | 柳川 紀美江 |
|-----|-------------|----|-------|--------|--------|

取組事例名 『徳地宿泊体験学習の取組』

取組における育てたい資質・能力

| 人間関係形成 | 社会参画 | 自己実現 |
|----------------|-----------------|-------------|
| 「自己理解・協同的態度」 2 | 「コミュニケーション能力」 3 | 「主体性・行動力」 1 |

取組のねらい『キーワード なりたい自分になる』

- ・様々な体験活動を通じて、自己の生き方を見つめる機会とする。これまでの自分を振り返り、自己評価能力を高め、これからの生き方を考える。
- ・宿泊体験学習に向けて取組を進める中で、計画(P)、実施(D)、検証(C)、改善(A)のサイクルを身につける。
- ・仲間と宿泊を伴う校外での生活を通して、他者の個性を尊重し、自己の個性を發揮しながら仲間とのコミュニケーションを図り、協力・協働して様々なことに取り組む体験を積み、相互理解を深める。

取組の具体的内容『キーワード 人として、より質の高い人間に成長する』

【すべての発問について、個人で考えさせ、班やクラスで交流させた。】

●探究テーマ決め● 徳地宿泊体験学習の流れ

①「自分はどんな人になりたいか、なれるといいか。」

生徒 『最後までやり切れる人。人の意見を積極的に取り入れる人』
『相手の気持ちを考えて行動できる人。みんなの為に動ける人』
『大らかな人』等の意見が出た。

②「こうなりたい」自分になるために、必要なことは何か。

生徒 『勉強をしっかりとやる・資格を取る・何事も前向きに頑張る』
『すぐに大人に頼らず、自分で考えてから行動する。』

③徳地宿泊研修の探究テーマの質をどんどん上げていくためには、自分はどのようなことをしていくよと思うか。

生徒 『冷静に判断する。空気をよんでから話す。みんなの意見を聞いてから自分の意見を言う。』
『人が嫌がる仕事でも進んでやっていく。困っている人がいたら一緒に困難を乗り越えていく』

④徳地合宿では具体的にどんな行動をしていくとよいか。

生徒 『時間を守る。(遅刻しない。)先を考えて行動する。友達と協力して動く。』
『班長の言うことをよく聞く(協力する)。自分の役割(係り活動)をしっかりと果たす。』

【みんなで考えた理想の自分になれるよう、実際に徳地に行って頑張ってみよう】と出発した。

| 内 容 | 内 容 |
|---|-----|
| ○徳地宿泊体験学習の説明(ガイダンス) | |
| ●探究テーマ決め | |
| ○「体験学習の中で、目指す自分の姿に近づくために、どのような動きをしていくか」 | |
| ●活動の質の向上(係会)生活の基盤を追求する。 | |
| 「目標とする姿に近づくために、係としてどのように動いていくか」 | |
| ○具体的な役割分担 | |
| ○しおり原稿づくり | |
| ○結団式・解団式の準備 | |
| ○しおり学習 | |
| ○結団式(前日)・解団式(当日) | |
| ●TAP①(その後、ファシリテーターと分析)・ナイトウオーケ(副班長) | |
| ●TAP②(その後、ファシリテーターと分析) | |
| ●プレスト(徳地のまとめ) | |
| ○解団式 | |

取組の課題・創意工夫『キーワード 自分の言動に責任を持つ』

- 責任を持って役割を果たそうとする気持ちを高めるために、事前の係会で具体的な目標を設定させた。
- 活動の質の向上● (各係会の目標)
- 班長会 広い視野を持ち一歩先を考え、一人ひとりが個性を出せるような雰囲気を作り、常に一歩先を考えて行動する。
- 副班長会 班長・班員のサポートをし、みんなをまとめていく。
- 生活係 聞く・切りかえる・守る・自分から動く。 保健係 仕事を忘れず、全力で頑張る。

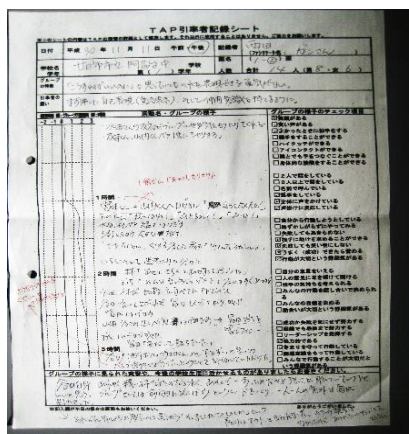
●徳地アドベンチャー教育プログラム (TAP) ●

自然の中で、体験学習サイクルを生かした個人と集団の成長を促すプログラムを実施した。 11月11日(日)・12日(月) 1泊2日

【活動プログラムへ向けて目標】

活動プログラムを通して、協力することの大切さと望ましい人間関係を築く。

- ・ファシリテーターと教員が共同で集団の高まりについて、表に記して分析を行った。 ●ファシリテーターと分析● →



取組の成果 (効果) 『キーワード 前向きに取組もうとする意欲』

- ・生徒が自らの探究課題を設定し、取組んだことで個々に自らの変容を具体的に捉えさせることができた。また、次への新たな課題を設定することもできた。
- ・仲間に対して、自然な形で素直に応援や拍手が起こるようになり、プログラムを達成した本人も自己肯定感を高めることができた。



●ブレストの様子 (まとめ)



生徒 『今までより諦めずにやり遂げようと言う気持ちが強くなった。率先して周りの雰囲気を見ながらやるべき事と今はやるべきではない事が判断できた。』
『色々な立場の目線から自分は何をすればいいか、考えることができた。』

今後の展開『キーワード 誇れる自分になる』

- ・探究テーマの質を上げていくため今の自分に何が必要かを考え、実行に移していく。
- ・自分や周りの成長を肌で感じ、さらに自分を鍛えていこうとする姿勢を持たせる。
- ・人とのかかわりを大切に、ともに高まり合う学年・学校にしていく。

他教科との関わり『キーワード 自分の将来の生き方について考えを深める』

- ・『美術』 感じたことを話し合おう。(鑑賞)
- ・『保健体育 (保健分野)』 心身の発達と心の成長
- ・『国語』 話し合いで理解を深めよう。

・『道徳』・2-(5) 多様な価値観 「みんなでとんだ」

生徒

『生徒全員が1つになるためにみんなで跳ぶから、矢部ちゃんがうまく跳べなくても、結果が残せなくても、みんなで跳んだ事に価値がある。』

